

## 会 議 録

会議の名称	令和6年度第1回白岡市環境審議会
開催日	令和6年7月16日（火）
開催時間	午後1時59分開会 ・ 午後3時16分閉会
開催場所	白岡市役所4階 特別大会議室
会長の氏名	弓木 裕一
出席者の氏名・出席者数	白岡市長 藤井 栄一郎 白岡市環境審議会委員 伊藤 昌美、弓木 裕一、浅野 悦子、天野 晋明、 鈴木 純二、稲橋 雅則、片山 俊樹 <span style="float: right;">7人</span>
欠席者の氏名・欠席者数	仁木 俊夫、福田 慎太郎、久保木 孝夫 <span style="float: right;">3人</span>
説明員氏名	(1) 令和5年度リーディングプロジェクト関連事業の実績について：今泉主査 (2) 令和5年度白岡市環境基本計画（実績報告）について：今泉主査 (3) 令和6年度白岡市環境基本計画（当初事業）について：今泉主査
事務局職員の職・氏名	生活経済部 部長 神田 正 環境課 課長 伊藤 真州 環境課 主幹 吉田 宏 環境課 主幹 吉川 隆志 環境課 主査 伊藤 研人 環境課 主査 今泉 和也 環境課 主任 折原 浩幸 環境課 主任 松原 直美 <span style="float: right;">8人</span>
その他会議出席者の職・氏名	（傍聴人） <span style="float: right;">0人</span>

<p>会 議 次 第</p>	<p>1 開 会  2 委嘱書の交付  3 市長あいさつ  4 委員紹介  5 議 事  (1) 令和5年度リーディングプロジェクト関連事業の実績について  (2) 令和5年度白岡市環境基本計画（実績報告）について  (3) 令和6年度白岡市環境基本計画（当初事業）について  6 そ の 他  7 閉 会</p>
<p>配 布 資 料</p>	<p>○会議次第  ○白岡市環境審議会委員名簿  ○資料1 令和5年度リーディングプロジェクト関連事業実績  ○資料2 令和5年度白岡市環境基本計画進行管理票（実績報告）  ○資料3 令和6年度白岡市環境基本計画進行管理票（当初事業）  ○当日配布資料 蓮田白岡環境センター概要  ○当日配布資料 令和6年度最適化活動の目標の設定等  ○当日配布資料 環境基本計画等改定に係るアンケート</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
吉田主幹	1 開 会 会議を開会
藤井市長	2 委嘱書の交付 藤井市長から、新たに委員となった天野委員に委嘱書を交付
藤井市長	3 あいさつ 藤井市長からあいさつ
弓木会長	弓木会長からあいさつ
吉田主幹	4 委員紹介 委員の紹介 事務局職員の紹介
吉田主幹	5 議 事 それでは、議事進行については白岡市環境基本条例第31条第1項に基づき、会長に依頼する。
弓木会長	これより議長の職を務める。 (1)令和5年度リーディングプロジェクト関連事業の実績について 議題(1)令和5年度リーディングプロジェクト関連事業の実績について、事務局から説明を求める。
今泉主査	資料1に基づき説明。
弓木会長	事務局の説明が終了した。 説明に対して質問等はあるか。
A委員	1点は参考情報の提供、あと2点はこんなことがで

A 委員

きたらいいなということで意見を述べさせていただきたい。

まず情報提供だが、昨年、自己紹介の時に私が気象予報士の資格を持っていることをお伝えしたが、その関係で地球温暖化に関するセミナーへの参加や専門家のかたと意見交換を行うことが多い。

その中で、表面的には地球温暖化はCO<sub>2</sub>の問題だと言われるが、学者のかたたちが考えている根深いところは、格差の問題が大きいと言われている。二酸化炭素を出す人と地球温暖化によって被害を受ける人、これは豊かな国がCO<sub>2</sub>を出し、弱小な国が被害を受けるという構図で、国レベルの問題でもあるし、個人間でも成立する。お金を持っている人は暑くなくてもガンガンとエアコンを使うが、それをできない、我慢する人もいる。そういった格差があるという根っこの部分を意識して政策を考えないと、なかなか実効性は上がらないというものである。

次にこうできたらいいなということで話をすると、一つ目は緑を増やす等の事業についてだが、木が二酸化炭素を吸収し、酸素にして循環するということは大切なことではあるが、市の実情として樹林は少なく、森を増やすことは簡単ではない。それに代わるものとして農地をうまく利用することがいいのではないかと。

今、農業法人が梨団地を作るという計画があるが、産業の振興にもなるし、環境面にもプラスになり、一石何鳥にもなることだと思うので、こういった取組をもっともっと積極的に行っていただきたいと思う。

二つ目は、子供に対する教育についてだが、これも非常に大切である。



伊藤課長	<p>こととなっている。</p> <p>できるかどうかはわからないが、中学生が作業に携わることはプラスの面が多いと思うので、こういった話があったということを担当課に伝え、できるだけ前向きに進めていけたらと考えている。</p>
B 委員	<p>屋敷林がだんだん少なくなり残念だと思っている。</p> <p>補助金はどの程度出しているのか。</p>
今泉主査	<p>樹木・樹林の保存事業として、指定をしているものについて奨励金という形で交付している。</p> <p>樹林については一体で1,000㎡以上の場所について保存樹林として指定をし、面積等に応じた奨励金の交付をしている。</p> <p>また、保存樹木については、地上からの高さ1,5mの幹周りが1,5m以上、高さが15m以上あり、その樹木が市民に親しまれているものを指定している。</p> <p>保存樹木については1本につき5,000円を交付している。</p> <p>少額ではあるが、奨励金の交付を継続し、樹林及び樹木を健全な状態で保存してほしいと考えている。</p>
弓木会長 C 委員	<p>他に意見はあるか。</p> <p>リーディングプロジェクト2の公園の緑地面積についてだが、市内は戸建て住宅などが増えている関係で、公園緑地面積が基準年度から比べ、少し減少している。</p> <p>また、中間目標の面積に対して0.4ha程足りなく、令和12年度の目標に対しては1ha以上足りない状態となっている。</p> <p>当初計画として、令和12年度の目標を達成するために1haくらいの公園緑地ができる計画などがあったのか伺う。</p>
今泉主査	<p>先程の課長からの説明でもあったが、白岡市はベッ</p>

<p>今泉主査</p>	<p>ドタウンとして住宅が増えていることもあり、樹木や樹林、緑が減っているというのが現実である。</p> <p>今のところ、「ここに新しい公園を作る」というような計画については、環境課では把握していない。</p> <p>これから大規模開発等を行う際に、公園や緑地を設けることを指導できる範囲で行い、少しずつ面積を増やしていければと考えている。</p>
<p>弓木会長 D委員</p>	<p>他に意見はあるか。</p> <p>リーディングプロジェクト1の「市民1人1日当たりのごみ排出量」についてだが、順調に減少している。中間目標はすでに達成しており、このままいけば令和12年度の目標値もすぐに達成できるのではないかと思う。</p> <p>ごみを減らすということはCO2の排出削減にも寄与しているということを広く周知していただき、できるだけ高めの目標設定にしていただければと思う。</p>
<p>吉田主幹</p>	<p>ごみの排出量の目標については、蓮田白岡環境センターが立てている。</p> <p>ごみの減量化の推進については、「廃棄物減量等推進審議会」という、市民のかたや学識経験者のかたで構成されている審議会があり、年に何回か協議を重ねて進めていく予定である。</p> <p>市としても、ごみの削減につながる意見を出していきたいと考えている。</p>
<p>弓木会長 委員一同</p>	<p>他に意見はあるか。</p> <p>なし。</p>
<p>弓木会長</p>	<p>意見もないようなので、議題(1)令和5年度リーディングプロジェクト関連事業の実績については終了とする。</p>
<p>弓木会長</p>	<p>続いて、議題(2)令和5年度白岡市環境基本計画（実</p>

弓木会長	<p>績報告) について及び議題(3)令和6年度白岡市環境基本計画(当初事業)について、それぞれ関連があるため事務局から一括で説明を求める。</p>
今泉主査	<p>資料2、3に基づき説明を行う。</p>
弓木会長	<p>事務局の説明が終了した。</p>
	<p>説明に対して質問等はあるか。</p>
A委員	<p>リーディングプロジェクトのことも含め、話題になっていることは自然環境のことが多かったと思う。</p> <p>しかし、環境というと生活環境というのも一つあり、そちらのほうはいかに市民のかたが暮らしやすい環境にしていくか、いろいろな課題があると思っている。</p> <p>そもそもだが、市ではどのようなことが生活環境といった観点で問題というか課題となっているのか、例えば大きく分けて3つくらいあげるとしたらどのようなことが挙げられるのか教えてほしい。</p>
伊藤課長	<p>どのようなことが課題となっているかということだが、私は4月から環境課に異動してきたのだが、この3か月間で感じたことを申し上げる。</p> <p>以前、私は環境課に所属していたことがあったが、大きく変わったと思うのは「空き家問題」がかなり大きな問題となっている。400件を超える空き家が市内にあり、この問題は今後も拡大していくおそれがあることから、きちんとした対応をしていかなければならないと感じている。</p> <p>それから、アライグマの報告をしたが、年間50頭を超える捕獲数である。これは生態系に大きな影響を及ぼすことになっている。</p> <p>また、空き家問題と合わさることにより、空き家に住みつくなどいろいろな被害の拡大も予想されるので、この問題についても生活環境という観点で、今後</p>

伊藤課長	<p>ますます注目をしていかなければならないと感じている。</p> <p>それから、生活環境という観点からは少し離れてしまいが、大きな問題として、市ではゼロカーボン推進室を設置しているが、地球環境を今後、市民1人1人が自覚をして、市と一緒に取り組んでいかなければならない大きな課題だと思っている。</p> <p>3つというと、これらが特に大きな課題だと思っている。</p>
A 委員	<p>ありがとうございます。</p> <p>3点目については、例えば今の時期で言うと熱中症に対する注意喚起だとかが毎日、防災行政無線から流れているが、これが日常的なことになっていて、例えば暑さ指数だとか具体的な数値を示すとか、多少メリハリをつけるようなことをしないと、「今日も流れているな」程度で終わってしまうので、一工夫する必要があるのかなと個人的には感じている。</p>
弓木会長 E 委員	<p>他に質問はあるか。</p> <p>アライグマの件だが、私の家の近くにも現れている。捕獲されたアライグマはどのように処分されているのか。</p>
吉田主幹	<p>アライグマは害獣として指定されているので、捕獲後は安楽死をしている。</p> <p>獣医のところへ連れていき、薬殺後、焼却処分している。</p>
E 委員	<p>うちの近くに現れたのは4～5年前だが、数はそれほど減っていないのか。</p> <p>うちの周りは住宅街で、森があるわけではないが、どこからくるのかなと不思議に思っている。</p> <p>年々増えているのか。</p>

<p>吉田主幹</p>	<p>あくまでも捕獲数でしかわからない。100頭、200頭は軽く生息していると考えられている。</p> <p>アライグマは水路を泳ぐことができるので、市内のどこにでも出現する。</p> <p>森の中にはいっぱいいるとか、汚いからいるとかではなく、むしろ街中のほうが出没数は多い。</p> <p>数については未知数のためわからない。</p>
<p>E 委員</p>	<p>ゼロカーボンに対してだが、私の家は太陽光発電と蓄電池を設置しており、電気代が安く、助かっている。</p> <p>こういったことをもっとアピールすれば、蓄電池を設置する家庭が増えるのかなと。太陽光発電を設置している家は多くなってきているが、蓄電池を設置している家庭はまだ少ないと思う。</p> <p>太陽光発電と蓄電池の両方を設置すると、ビックリするくらい電気代が安く、助かっている。この夏は電気代が上がってみんな心配しているが、私の家はそれほど心配せずにいられるので、いろいろな意味で蓄電池は必要だと思うので、もっと補助金を交付していただければいいと思う。</p>
<p>吉川主幹</p>	<p>現在市では、市単独の補助金として太陽光発電及び蓄電池に対して、それぞれ上限3万円、また重点対策加速化事業として、太陽光発電と同時に設置した場合、蓄電池だけで最大約36万円、太陽光発電で最大約35万円の合計70万円以上の補助金が交付できることとなっている。</p> <p>蓄電池の導入については、委員のおっしゃるように電気代が安くなるというメリットがあること、もう一つ、災害時にも大きな効果が発揮されるので、そういったこともPRして、補助金も有効活用して普及に努めていきたい。</p>

<p>弓木会長 C 委員</p>	<p>他に質問はあるか。</p> <p>資料 2 の 1 1 ページ、保健福祉総合センターの太陽光発電の件だが、財政課では「修繕等を検討し、発電量の確保に努める」としているが、健康増進課は「既存太陽光発電設備の撤去と新規設備の設置を検討し、発電量の確保に努める」となっている。</p> <p>最終的な方向性は同じだと思うが、どちらの手段で検討しているのか伺いたい。</p>
<p>吉川主幹</p>	<p>保健福祉総合センターの太陽光発電については、稼働していない状況である。</p> <p>以前は修繕をする予定としていたが、多額の費用が掛かるため、国庫補助事業が採択されれば令和 7 年度に既存設備を撤去し、新規で設置することを検討している。あくまでも国庫補助事業が採択された場合に事業を推進していくものだが、今のところは健康増進課の「既存太陽光発電設備の撤去と新規設備の設置を検討し、発電量の確保に努める」が環境課と共有している情報となる。</p>
<p>弓木会長 F 委員</p>	<p>他に質問はあるか。</p> <p>重点対策加速化事業の件で、蓄電池が最大で約 3 6 万円、太陽光発電で最大約 3 5 万円の補助金ということだが、これは市の創エネ・省エネ機器設置費補助金と併用できるのか。</p>
<p>吉川主幹 F 委員</p>	<p>いろいろと条件があるので、それらの条件をクリアすれば、両方の補助金を使うことはできる。</p> <p>重点対策加速化事業の太陽光発電については、「FIT 制度及び FIP 制度の認定を取得しないこと」と条件があるが、これだと売電はできない。そうすると全て自家消費することとなるが、余った電気についてはどのような扱いになるのか。東京電力に買い取っても</p>

<p>F 委員 吉川主幹</p>	<p>らうことはいいのか。</p> <p>市の補助金については、F I T 制度へ登録していても問題はない。</p> <p>重点対策加速化事業については、国の要綱でF I T 制度及びF I P 制度を活用してはならないことが条件として入れられている。</p> <p>ただ、原則自家消費だが、全て使い切ることは難しいと思われるため、F I T 制度によらない、金額は安くなってしまうが、東京電力等に買い取ってもらうことは絶対にダメだということではないので、そちらに売電するということは可能となっている。</p>
<p>F 委員</p>	<p>どうしても一般家庭だと昼間働いていて、太陽光発電で作った電気が余ってしまうことが多い。その余った電気はどうなるかという、東京電力の契約の中で東京電力に流れてしまうことになる。それを東京電力も買い取らないわけではないが、卒F I T と同じような形で買い取ってくれると思う。</p> <p>もしそれが流れ込まないようにするために電気を止めるような方法をとろうとすると、その設備に結構な費用が掛かる。東京電力のメーターでカウントし、F I T 制度の金額ではないが、少しでも買い取ってくれるというのであれば、いいのではないかと思う。</p> <p>また、蓄電池については本体と工事費込みで、1キロワット当たり15万円くらいで設置しないといけないとなっていたと思う。そうすると7キロワットであると100万円以下で収めないといけないこととなるが、なかなかそこがハードルが高く、仕事柄、見積りを作ってみると、7キロワットで100万円を超え、10キロワットでは150万円近くなる感じである。そうすると補助金の対象とならないのかなと思った。</p>

吉川主幹	<p>重点対策加速化事業について補足説明をさせていただくと、太陽光発電の補助金については1キロワットあたり7万円、5キロワット相当までが限度のため、最大35万円が補助金額となっている。</p> <p>蓄電池については考え方が複雑で、太陽光発電の工事費と本体価格の税抜価格を導入するキロワットで割り、15万5千円以下のものが対象となる。この太陽光発電の工事費及び本体価格の3分の1が補助金の対象となる。こちらについては定格容量が7キロワットまでを限度としており、計算すると36万1千円が補助金の限度となっている。</p> <p>国に対しては、1キロワット当たり15万5千円の価格などについては厳しいのではないかとということをお願いしたが、国の考え方としては、なるべく安い蓄電池の普及を図っていきたいということで回答を得ている。</p>
F 委員	<p>ありがとうございました。</p> <p>引き続き国の方へプッシュしていただければと思う。</p>
弓木会長	<p>他に質問はあるか。</p> <p>質問がないようなので終了とする。</p> <p>本日委員の皆様から出た意見等については、事務局で整理し、対応をお願いしたい。</p> <p>議事が全て終了したため、議長の職をおりる。</p>
6 その他	
吉田主幹	<p>その他に関して、事務局から説明がある。</p>
今泉主査	<p>環境基本計画等改定に係るアンケートに基づき説明。</p>
吉田主幹	<p>質問等はあるか。</p>

委員一同	なし。
吉田主幹	そのほか、各委員から何かあるか。
委員一同	なし。
吉田主幹	7 閉 会 会議を閉じる。
	以 上